

ウトロ地域マリンビジョンニュース

発行・編集・ウトロ地域マリンビジョン協議会事務局

ウトロ地域マリンビジョンニュースは、町民のみなさんと一緒にウトロ地域で水産業を核とした地域振興を進める「ウトロ地域マリンビジョン計画」の推進状況などをお知らせするお便りです。

ウトロ地域マリンビジョン協議会 からの報告

平成26年10月21日にウトロ地域マリンビジョン協議会を開催しました！

出席者32名

前回(9月30日)に検討した案を前回と同じ3グループに分かれて、絞り込みと具体的な検討を行いました。その後検討結果について発表を行いました。検討結果は今後の協議会で具体性などを確認しながら、計画に盛り込んでいきます。

各グループの発表内容

グループA

荷揚げ作業の見学

- 内容は、人工地盤2Fの供用にあわせて荷揚げ作業を解説する看板を設置する。
- 対象は一般の観光客とし、中心団体は斜里町と開発局とする。
- 人工地盤1F部は、衛生管理エリアとなるため、そこへの立ち入り規制を設けた上で、道の駅、観光船の発券場などで人工地盤2Fが荷揚げ見学のできる場であることを宣伝する。
- 課題は、看板を設置しただけでは、来訪者に十分な情報提供が行えないと考えられるため、将来的には漁師さんのOBなどに荷揚げ作業の解説をお願いすることも考えていけたらと思う。
- 荷揚げ作業見学後には、観光客に婦人部食堂に来てもらい地元の美味しい食材を満喫してもらうことまで含めて荷揚げ作業の見学として考えた。



マス網起こし作業見学

- 目的は、オホーツクサーモンのPRと、各事業者(漁業・観光)の連携とする。
- 対象は、観光船を利用する一般の観光客、場所は漁港近くの漁場(マス網)、時期は比較的漁獲量が多い8月の中旬～下旬までを対象に試験的に実施する。
- マスの網起こし見学で成功すれば、秋サケの時期にも網起こし見学やりたいと考えている。
- この事業をうまく軌道の乗せることができれば、ウトロ観光業全体の観光船やクルーザーとの連携する流れを作ることができ、新たなイベントにも繋がっていけば観光業の振興や地域の活性化にも繋がっていけると思う。
- 網起こし見学は過去にも提案されているので、まずはモニターを募集してのツアーを実現させることが重要と考え、実現に向けた具体的な問題等を詳細に討議した。資金面の問題ではマリンビジョン協議会に参加している関係団体で負担し、確実に実行すべきという結論に至った。

グループB

日本一のサケ祭り(丸ごと感じて海トロの恵み)

- 観光客の集客を目的としてサケ祭りのイベントを考えた。サブタイトルは、マリンビジョンのキャッチコピーが人を引き付ける内容があるのでそこから引用した。
- 内容は、祭りは前夜祭と翌日の本祭りとの2日間で実施する。
- ウトロの海に沈む夕日はとても綺麗なため是非とも観光客に見てもらえるようにサンセットクルーズ、ナイトクルーズの運航を実施する。特に、前夜祭では花火大会を実施する。
- 本祭りイベントとしては、サケ釣り大会の実施し最も大きなサケを釣った人を表彰する。観光船乗客へのイクラプレゼント。観光客に体験してもらえるイクラの醤油漬け作り教室、サケのさばき方教室等を実施する。
- このイベントの中で、斜里町産業まつりで好評だった「ひっぱりタコ」を行う提案や、知床峠マラソン大会として、ウトロの人工地盤から羅臼の人工地盤までのマラソンを行えたらいいとの提案も出された。
- これらの目的としては、知床のPRと、経済効果の上昇を狙いとする。
- 対象は、道央圏、道内の観光客と、近郊の来訪者とする。
- 中心団体と連携団体は、マリンビジョン協議会(実行委員会)とし、場所は人工地盤とする。
- 課題は、サケ祭りとしての実施時期は9月頃となるが、その頃、斜里町産業祭りが開催されるので、そことの調整が課題であるほか、運営方法について資金面が一番の課題と考えている。

サケの網おこし作業見学

- 内容は、サケの網おこし作業が早朝に行われるため、ホテル(宿泊施設)との連携した形で、何らかの前泊予約特典を付加して、観光客にサケの網おこし作業見学を宿泊プランとセットで実施することを考えていく。
- 目的は、漁業と観光との連携とし、対象は、一般観光客とする。
- 見学場所は、定置網の設置箇所とし具体的な場所等は決まっていないが、網おこし作業見学後には食事提供を行いたいと考えている。

サケ料理コンテスト(秋サケ甲子園)

- 内容は、材料となるサケを提供して料理コンテストを実施する。優勝者が作った料理は町内のホテルなどのメニューに採用してもらえるように働きかけていく。
- 目的は、食育の推進とし、対象は、甲子園の名のとおり女子高生とする。
- イベント効果として、若年層での魚食の普及に繋がっていかばと考えている。

グループ

サケ祭り

- 内容は、漁協青年部のオホーツクサーモンバザールなどの既存のイベントに相乗り
- 目的は、各事業者との連携、食材としての目玉を作ること、サケのPRとする。
- 対象は、観光客と、周辺地域の住民とする。
- 中心団体は、マリンビジョン協議会、連携団体は、漁協青年部、婦人部、観光協会とする。
- 場所は、道の駅、オーロラ会場、人工地盤2Fとする。
- アイデアとしては、祭りを通じてメインとなる食材を作りあげること、特に、サケ+観光との連携の観点や、Bプナ雄の美味しさを知ってもらう機会とすることに留意する。



婦人部食堂の移設

- 内容は、婦人部食堂について、今後、荷捌きの拠点が新港地区に移設することが決まっており、荷捌き作業を見学しながら食事ができる場所を提供したいという婦人部の意向があり、道の駅のごっこ屋(漁協直売店)と一緒にすることで相乗効果が期待できるのではないか。
- 目的は、相乗効果と、水産物のPR。対象は、観光客と地元の住民とする。
- 場所は、新港のどこかの位置とし、具体的な検討は今後の課題とする。
- 宣伝は、婦人部食堂は既に観光客らに十分な認知を受けており、口コミ効果による宣伝を狙っている。
- 課題は、現時点で場所が決まっていないこと。
- アイデアとしては、新たな婦人部食堂でイクラ作り体験やいずし作り体験の場を併設できれば、観光客だけではなく地元の主婦なども利用したいと言う潜在的需要の掘り起こしになればと考えている。

ビーチ作り

- 内容は、シャシコツ地区にビーチを作り親水性を高めて楽しめる場所(海岸において水に触れられる)にしたいと考えている。
- 目的は、地元の子供達や観光客に海で遊ぶ体験をする場とする。
- アイデアとしては、新港からシャシコツまで含めたエリアを使って、漁港を拡張する場合は釣り防波堤等の整備や、冬期はビーチが流氷ウォークの場としても活用できればいい。

網おこし見学

- 内容は、他グループからも提案された同じようなサケの網おこし作業の見学であるが、20年程前に観光船オーロラにより網おこし作業の見学が実施され、その際に、見学時間が早朝だったりの問題や、安定した集客ができなかったなどの問題も確認されている中で、グループ内ではどのように問題を克服し、実現に向けて進めていけるかを詳細に検討した。
- 対象は、主は観光客であるが、地元住民にも見学したいという潜在的な需要はあると思うので、幅広い需要を取り込んでいく狙いが必要と考えた。
- 資金は、乗船料による収入により運営費が賄えることが理想である。しかしながら当面は、モニターツアー的な試験的な運航により網おこし見学の魅力を評価しながら事業化への可能性を検討することも必要である。
- 宣伝については、参加者から網おこし見学に対して良い評価が得られれば、テレビなどのマスコミにも取り上げてもらえる可能性がある。
- アイデアとしては、通常の観光船航路のオプションに含めての実施や、食事とのセットでの企画とすることなど。
- スケジュールとしては、来年度モニターツアーとして大型観光船と小型観光船で実施。当日、網おこし作業が行われない可能性があることの告知方法や、その際の対応については引き続き今後の課題として検討する。

迷惑車両対策

- 内容と目的は、道の駅の駐車場でキャンピングカー等が長期滞在しているほか、漁港内(岸壁・用地)においても釣り客などの車両が駐車し、漁業活動での支障が問題となっており、対策が必要である。
- 具体的な対応としては、利用者に注意を促す看板の設置やゲートの設置による管理を検討する。開発局では、新港の完成にあわせてサイン計画の検討も行われると思うので、サイン計画の中で、迷惑車両対策についての検討をお願いしたい。

フェイスブック(SNS)での情報発信

- 内容は、フェイスブックでの地元情報の発信とし、目的は、地元資源やイベント等のPR、または利用者の迷惑行為に対する自粛呼びかけの用途での利用も考えられる。
- 課題は、投稿する上での一定のルール作りと、寄せられる様々なコメントへの対応である。
- アイデアとしては、各種イベントの周知、普段は見ることができない漁業作業の様子等を発信することで注目度が高まっていかばと考えている。
- スケジュールとしては、ルール作りさえ出来れば、当該マリンビジョン計画の取り纏め後、すぐにも事業化が可能である。

流氷ウォーク+α

- 内容は、厳寒期に行われる流氷ウォークでは、ウォーク後に何もすることがないことが課題となっており、ウォークが終わった後に楽しめる何かを考えていく必要がある。例えば、流氷トンネルを作るなどのアイデアも出されたが、具体的な何かは今後の課題として考えていく。